

別紙
平成27年8月19日
キャンプ座間に関する協議会幹事会

第16回、17回幹事会における協議内容（報告）

第16回幹事会（平成26年11月13日）

- ・ 座間市から、キャンプ座間返還予定地における座間総合病院の建設工事について、平成26年10月14日、座間市、南関東防衛局及び現地米軍との三者間で現地実施協定書を締結し、同日付で、南関東防衛局から一時使用許可書が交付され、10月15日から共同使用を開始できたことについて、南関東防衛局等関係各機関への謝意が表された後、「これをもって、病院の建設工事は、10月15日に着手し、11月4日には、施工業者が主催し、安全祈願祭を行った。今後は、施工業者から市に提示された工程計画に基づき、着実に工事を進めていただき、平成28年4月の病院開業を予定したいと病院事業者が考えており、引き続き、協力をお願いしたい。」との発言があり、南関東防衛局から、「病院の建設を円滑に進めることができるよう、引き続き、協力してまいりたいと考えている。」との発言。
- ・ 次に、座間市から、「陸上自衛隊宿舎の建設工事の進捗を説明頂きたい」との発言があり、南関東防衛局から、「陸上自衛隊宿舎の建設工事は、平成26年6月から本体工事に着手し、現在、宿舎2棟の基礎工事を実施しているところ、今後、順次、躯体を立ち上げていく計画である。」と

説明。

- 次に、座間市から、「キャンプ座間の一部返還に際し必要となる施設整備である米軍家族住宅の工事の進捗状況と、最終的な完了時期及び具体的な返還時期を説明頂きたい。」との発言があり、南関東防衛局から、「米軍家族住宅の整備については、平成26年6月から既存住宅の解体工事を実施しており、8月からは解体が終了した区画から、順次、本体工事の建設を行っているところ、施設整備の最終的な完了時期及び具体的な返還時期については、今後の事業の進捗や返還に係る手続の進捗によることから、現時点で確たることは申し上げられないが、いずれにしても、施設整備を着実に実施し、平成28年春の病院開業に支障がないよう、早期の返還に向けて引き続き努力していく。」と説明。
- 次に、南関東防衛局から、「第15回幹事会で提示があった返還予定地内全体の整備計画についてその後の進捗状況を説明頂きたい。」との発言があり、座間市から、第15回幹事会で説明したスケジュールのうち、「新消防庁舎について、一部計画の見直しを行い、平成27年度に実施設計、平成28年度から平成29年度にかけて建設工事を行うこととした。なお、開所は平成29年度中の予定である。」との説明があり、併せて「これらの事業の円滑な進捗ができるよう協力をお願いします。また、このスケジュールの実施にあたり、市民が負担軽減を実感できるよう、新消防庁舎建設への助成等をお願いしたい。この他、現在、海老名市、綾瀬市、座間市の3市で運営している高座清掃施設組合のごみ処理施設等の整備に対する助成等を含め、積極的な対応をお願いしたい。」との発言があり、これに対し、南関東防衛局から、「座間市の全体整備スケジュールの円滑な実施ができるよう、一部返還に際し必要となる

施設整備を着実に実施し、早期返還に向けて引き続き最大限努力してまいりたい。また、座間市民のための負担軽減について、環境整備法等に基づき、最大限努力する。なお、国の財政状況が非常に厳しいこともご理解願いたい。」と説明。

- また、座間市から、「昨年12月に閣議決定された中期防衛力整備計画において新編することとされた陸上総隊について、同司令部の設置場所等について情報があれば説明頂きたい。」との発言があり、南関東防衛局から、「陸上総隊司令部（仮称）の具体的な配置場所等については、引き続き検討を行っているところである。今後、詳細が分かり次第、適時情報提供を行っていきたい。」と説明。

第17回幹事会（平成27年2月20日）

- 座間市から、「キャンプ座間返還予定地における座間総合病院の建設工事は、平成28年4月の病院開業に向けて、これまで、順調に進捗しており、今後、地上部分の工事に移行する計画である。ついでには、地下部分に係る工事の次の段階の工事を実施するため、共同使用の期間延長の承認に向けた日米間の調整等、所要の手続きをよろしく願いたい。」との発言があり、南関東防衛局からは、「病院建設を円滑に進めることができるよう、引き続き、取組んでまいりたい。」と発言。
- 次に、座間市から、「陸上自衛隊宿舎の建設工事は、進捗を説明頂きたい。」との発言があり、南関東防衛局から、「陸上自衛隊宿舎の建設工事は、現在、躯体工事を実施しており、宿舎2棟の2階部分まで立ち上がっている。また、平成27年度予算案において公務員宿舎施設費として約27億円を2ヶ年の国庫債務負担行為で計上しており、今後

も順次、工事を進め、引き続き、早期完成に向けて努力してまいりたい。」と説明。

- 次に、座間市から、「キャンプ座間の一部返還に際し必要となる施設整備である米軍家族住宅の工事の進捗状況と、最終的な完了時期及び具体的な返還時期を説明頂きたい。」との発言があり、南関東防衛局から、「米軍家族住宅の整備については、現在、躯体工事を順次、実施しているところ、施設整備の最終的な完了時期及び具体的な返還時期については、今後の事業の進捗や返還に係る諸手続の進捗によることから、現時点で確たることは申し上げられないが、いずれにしても、施設整備を着実に実施し、平成28年春の病院開業に支障がないよう、早期の返還に向けて引き続き努力していく。」と説明。
- 次に、南関東防衛局から、「座間市が計画している返還跡地利用の全体整備スケジュールについて、変更の有無を説明頂きたい。」との発言があり、座間市から、「前回の幹事会以降、計画に大きな変更はない。今後とも引き続き、これらの事業の円滑な進捗ができるよう協力をお願いする。このスケジュールの実施にあたり、市民が負担軽減を実感できるよう、新消防庁舎建設への助成等については当市から、また、現在、海老名市、綾瀬市、座間市の3市で運営している高座清掃施設組合のごみ処理施設等の整備に対する助成については高座清掃施設組合から、南関東防衛局に補助事業等計画書を提出させて頂いたところ、積極的な対応をお願いしたい。」との発言があり、これに対し、南関東防衛局から、「座間市の全体整備スケジュールの円滑な実施ができるよう、一部返還に際し必要となる施設整備を着実に実施し、早期返還に向けて引き続き最大限努力してまいりたい。また、座間市民のための負担軽減について、環境整備法等に基づき、最大限努力する。なお、国の財政

状況が非常に厳しいことをご理解願いたい。」と説明。

- また、座間市から、「陸上総隊について、同司令部の設置場所等も含め、検討状況を説明頂きたい。」との発言があり、南関東防衛局から、「陸上総隊（仮称）の新設に向け、平成27年度予算案に、陸上総隊（仮称）の前身となる中央即応集団司令部に準備室の設置及び陸上総隊（仮称）司令部庁舎等の整備に係る調査・設計費約3億円を計上している。陸上総隊（仮称）司令部の具体的な配置場所については、引き続き検討を行っており、今後、詳細が分かり次第、適時情報提供を行っていきたい。」と説明。

以 上